



高知市立高等学校研修（高知商業高等学校）特集

概要

高知市立高等学校研修は高知市立高等学校教育の現状と課題への理解を深めるとともに、高知市立高等学校の教職員としての自覚を高め、資質・指導力の向上を図ることを目的に、市立1校の強みを生かした研修体制で実施している。研修日数は全日制7日間（うち、1日は中堅教員対象）、定時制6日間である。

研修Ⅰ （全日制）

「高等学校における発達障害児の理解と対応」

高知大学教育学部 是永 かな子 准教授

発達障害の特性

- LD・・・「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」、「計算する」、「推論する」などのうち、特定の領域を極端に苦手とする特性が見られる。
- ADHD・・・「多動性」、「衝動性」、「不注意」（落ち着かない、すぐにイライラする、計画が立てられないなど）の特性が見られる。
- 高機能自閉症・・・社会的コミュニケーション障害や極端なこだわりが見られ、上手に人と関わることや、気持ちの切り替えを苦手とする特性が見られる。

理解と対応

- ・ 教員が子どもの「困り感」を理解し、指導の工夫や配慮を行う。
- ・ 個別のみならず集団に対する対応を本人や保護者と一緒に考え、大人になって困らないようにするための支援を具体化する。
- ・ 組織としての支援体制や支援方法の引継ぎとして、中高大連携を考える。
- ・ 「問題行動」を分析し、支援の量・内容を特別支援教育の視点で考える。

特性や支援が必要な子ども
に教職員が気付くことが必要

平成26年度 高等学校研修の柱

指示命令ではなく、問いかけによって生徒の能力を引き出す方法を学ぶ

研修Ⅱ「コーチングについて ～生徒の能力を引き出す指導の在り方～」

研修Ⅲ「生徒の能力をいかに引き出すか ～自己の指導の省察を通して①～」

研修Ⅳ「魔法の質問で生徒に迫る ～こんなに変わる！生徒がやる気になる質問～」

研修Ⅴ「生徒の能力をいかに引き出すか ～自己の指導の省察を通して②～」



研修Ⅱ～Ⅴでの学び

- ・ 良い質問・・・「どのようにしたらいいかな？」（HOW形式、相手のための質問、肯定質問）
- ・ 良くない質問・・・「なんでできないの？」（WHAT形式、自分のための質問、否定質問）
- ・ 質問のスキルよりも「誰が質問しているか」が重要。つまり相手との信頼関係が重要である。
- ・ 「良い質問」をするためには、自分自身の心が満たされていないといけいない。自分自身の心が満たされていないときは、どうすれば満たされるかを自分自身に問いかける。
- ・ 生徒の課題解決力を伸ばすためには、「体験」したことを「リフレクション（振り返り）」させて「経験」へと昇華させることが必要。
- ・ コミュニケーションスタイルには「コントローラー」「プロモーター」「サポーター」「アナライザー」の4通りがある。（下表参照）それぞれ長所・短所があり、自分や相手がどのタイプかを知ることで、コミュニケーションの幅が広がる。（研修Ⅲにおいて、自分のコミュニケーションスタイルを把握するワークを実施）
- ・ 自分の価値観や本当に大切にしたいことは何かを省察することで、新たな気づきが生まれる。

☆ 4通りのコミュニケーションスタイル

コントローラー	プロモーター	サポーター	アナライザー
・ 自己主張が強い。 ・ 行動的で思い通りに物事を進めたい。 ・ 結果を重視する。 ・ 単刀直入にものを言う。 ・ 他人から指示されることを嫌う。	・ 自己主張が強い。 ・ 活気あることをするのを好み、自発的でテンションが高い。 ・ オリジナルなアイデアを大切にしているが、あきっぽい。 ・ 細かいことは気にしない。	・ 自己主張が弱い。 ・ 人を援助することを好み、協力関係を大事にする。 ・ 人に認めてもらいたいという欲求が強い。 ・ 感情に基づいて判断する。 ・ 決断に時間がかかる。	・ 自己主張が弱い。 ・ 情報を分析して計画を立てて、慎重に行動する。 ・ 客観的で冷静である。 ・ 完璧主義なところがあり、ミスを嫌う。

楠瀬 英彦 校長から

・ 個々に合わせた時間割を作成して、それに基づいたクラス編成を行っている。

・ 「早寝、早起き、朝ごはん」は大学受験においても重要である。

自習室ではみんなが熱心に取り組んでいるので、お互いに刺激を与え合うことになり、出身校を越えた自習室仲間が生まれる。

中学校の復習が必要な生徒に対しては、生徒のプライドに配慮しつつ、できていないレベルまで戻って指導できるよう題材を工夫している。

日本学生支援機構の奨学金について、保護者や生徒に安易に勧めるのではなく、「ローン」と同じである点をしっかり説明することが大切である。

受講者の感想

学習に対する動機付けや、生活習慣の確立など、定時制の生徒の指導においても重要なことであり、研修内容を活用したい。

放課後、残って勉強している生徒が数名いるので、その生徒たちを中心に集団での意識を高め、学習に対する意欲を高めることが課題である。

小・中学校段階の計算力や漢字力の弱さを日々生徒と接する中で感じているが、時間がかかっても戻るべきところは戻って力をつけさせることを実践したい。

日本学生支援機構奨学金についての話や資料は、今後の生徒指導上、非常に参考となった。

リーダーシップとは

☆ 誰でも発揮することが可能

☆ 複数の人が集まれば自然と発生

☆ フォロワーの存在が条件

☆ ヘッドシップは似て非なるもの

＝ 他者への影響力

人の動かし方 ～5つの方法～

お金

権限

共感

尊敬

恐怖

大切にすべきは

共感

尊敬

リーダーの在り方

・ 「共感」と「尊敬」はリーダーが他者（メンバー）にさせるものではなく、他者が自発的に感じるものである。つまり、リーダーにできることは、他者の思いに共感し、他者を信頼することのみである。

・ 人の動かし方の「人」とは、実は「自分自身」のことである。

・ ビジョンをもち、「共感」や「尊敬」されるための努力をする。

グループワーク ーどんな高知商業にしたいかー

行き先

生徒に付けたい力

手 法

グローバル人材を育てるビジネス高校

英語力、簿記会計・ITの知識、社会人基礎力 等

「海外（ラオス・オーストラリア）に分校を作り生徒も教員も研修する」
「全校生徒にiPad」
「食堂をインターナショナルカフェに」
「インターネットで販売活動」
「地域との連携」 等

あるグループの例

時には、「ワイガヤ^{注1}」で「ブルースカイミーティング^{注2}」をすることも必要。

「できそうな未来像」や「創りたくない未来像」ではなく「創りたい未来像」を語る。



注¹ Hondaが開発した、役職や年齢、性別を超えて気軽に「ワイワイガヤガヤ」話し合う会議の手法。

注² Walt Disney Imagineering社で始まった、どこまでも広がる青空のように限界を定めずに創造的なアイデアを出し合う会議のこと。